

平成21年度
養豚問題懇談会報告書の具体化に
向けた行動計画(案)について

平成21年6月

農林水産省

項目	4月～9月	10月～3月	備考
○養豚問題懇談会報告書の周知・徹底	【懇談会の開催】 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">6月17日:20年度取組の検証、21年度行動計画の策定</div> → 秋以降 :養豚問題懇談会報告書の検討		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">21年度中:養豚問題懇談会報告書を作成</div>
1. 養豚経営の安定と担い手の確保 ○養豚経営安定のための施策の在り方 ○「担い手」等を対象とした経営安定対策の推進	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">認定農業者に関する実態調査(都道府県が策定した認定農業者数の増加に係る地域計画等のアクションプランについて、取組状況の把握)</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> ↓ { 地域計画等アクションプランに基づく認定率向上に向けた取組を推進 } → { 養豚農家支援のための緊急対策の円滑な推進 } → </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px; text-align: center;">4月:肉豚価格差補てん緊急支援特別対策事業に係る説明会の実施</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px; text-align: center;">肉豚価格差補てん緊急支援特別対策事業の着実な推進</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px; text-align: center;">↑ 認定農業者の掘り起こしによる認定率向上</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px; text-align: center;">次期経営安定対策の検討に向けた意見交換等の実施</div> 【担い手の育成・確保】 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">各県のアクションプランに基づく担い手の増加に向けた取り組みの推進(専門家支援チームによる支援・指導、人材育成のための研修会開催等)</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px; text-align: center;">配合飼料価格の高騰に対応した経営相談窓口の設置</div> 【法人化、協業化、グループ化の推進】 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px; text-align: center;">強い農業づくり交付金の取組対象として協業法人化に伴う豚舎等の施設整備を支援</div> 【制度資金の融通等】 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px; text-align: center;">畜産経営生産性向上支援リース事業等の実施</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px; text-align: center;">農業経営基盤強化資金、農業近代化資金等の制度資金の融通による担い手への経営支援</div>		○各種生産基盤の強化対策等と連携して、都道府県における認定率向上に向けた取組を推進 ○施策の検証 ○肉豚価格差補てん緊急支援特別対策事業の対象経営については、認定農業者及び認定農業者に準ずる者として都道府県知事が特認した者に限定 ○地域の畜産経営支援者のスキルアップ、適正な資金計画や経営改善計画の策定等を通じて、畜産経営の体質強化を促進

注:計画欄の は、国、県等の活動、 は、団体の活動を示す

項目	4月～9月	10月～3月	備考
<p>2 国際化に対応し得る生産・流通体制の構築</p> <p>○生産資材費等の低減</p>	<p>【配合飼料価格高騰への対応】</p> <p>配合飼料価格安定制度における通常補てん基金の市中銀行からの長期借入に対する利子助成</p> <p>異常補てん基金の積増し</p> <p>【飼料用米の利活用の推進】</p> <p>飼料用米の利活用に係るモデル実証の実施(継続地区)</p> <p>飼料用米の利活用に係る新たなモデル集団の設立</p>	<p>モデル実証の実施</p> <p>飼料用米の利活用に係る成果集の作成・配布</p> <p>飼料米利活用推進検討会</p>	<p>○飼料用米の生産振興施策と連携しつつ推進</p>
	<p>【畜舎建築基準の緩和措置の活用】</p> <p>解説、パンフレット及びHP等を活用した畜舎建築等に係る基準緩和の理解促進及び畜舎等の現地調査結果等の情報提供による畜舎等の建築コスト低減を推進</p> <p>畜舎建築等に係る調査実験(積雪加重の影響緩和等)</p> <p>図書省略の大臣認定制度を活用</p> <p>太陽光パネル導入の手引きを作成・配布するための調査等</p> <p>7月、3月 畜舎建築基準に関する検討会等</p>		<p>○改正建築基準法の施行に伴う畜舎等の設計・建築に係る負担の増加への対応</p>
	<p>動物用医薬品の承認申請に必要な資料の合理化のための国際間での安全性・有効性等試験の方法の統一化及び外国試験データの利用促進</p> <p>畜産農家、獣医師、医薬品販売業者に対する動物用医薬品及び飼料の適正な使用(特に使用基準及び動物用医薬品の休薬期間の遵守)、販売のための指導を徹底</p>		

項目	4月～9月	10月～3月	備考
○改良の推進	<p>【豚の改良の推進】</p> <p>家畜改良増殖目標畜種別研究会(豚)の開催</p> <p>7月 豚の新育種技術に関する研究会の開催(畜草研)</p> <p>【効率的な改良体制の構築】</p> <p>全国統一の基準による能力評価体制の整備及び一部地域の地域内公表を推進</p>	<p>次期家畜改良増殖目標(豚)の決定(32年度目標)</p> <p>秋以降 遺伝的能力評価に係る普及・推進会議の開催</p>	<p>○27年度の改良増殖目標の達成状況を踏まえつつ、32年度目標に向けた改良目標や効率的な改良体制を検討</p>
○飼養・衛生管理の高度化	<p>【飼養・衛生管理の高度化】</p> <p>地域養豚振興特別対策事業等により生産集団が実施する飼養・衛生管理技術の高度化、生産性の向上等の取組を支援</p> <p>・飼養衛生管理技術に関する優良事例の普及 ・人工授精の普及</p>		
○加工・流通・販売の合理化	<p>食肉処理施設の再編整備等に係る事業要望の把握</p> <p>最近の生産・流通・消費の事情を反映した豚肉取引規格の検討</p>	<p>{ 事業の実施 }</p>	
○アニマルウェルフェアへの対応	<p>【飼養管理指針の普及・啓発】</p> <p>農政局単位での説明会の開催</p> <p>生産者団体等との勉強会の開催 等</p>		<p>○説明会の開催等によるアニマルウェルフェアに対応した豚の飼養管理指針の普及・啓発</p>

項目	4月～9月	10月～3月	備考
<p>3 多様なニーズに対応した国産豚肉の生産、供給の取組</p> <p>○銘柄化の推進</p>	<p>【地域の主体性と創意工夫を活かした取組を支援】</p> <p>養豚振興対策に係る銘柄化確立推進計画の策定</p> <p>国産銘柄豚の生産体制をより高度化するためのモデル実証の取組</p>	<p>生産者集団による銘柄化の取組を支援</p> <p>母豚と精肉のDNA照合によるブランド証明、消費者モニター評価を踏まえた改善策等を検討</p> <p>和牛等特色ある食肉の表示に関するガイドラインの普及・啓発</p>	
<p>○トレーサビリティ・システム、生産履歴情報提供の取組</p>	<p>【トレーサビリティの取組】</p> <p>モデル実証事業等により、トレーサビリティの普及・定着を推進</p> <p>【生産履歴情報等の提供】</p> <p>流通段階等における偽装表示の防止強化、「生産情報公表JAS規格」の普及・定着への取組を推進</p>		<p>○モデル実証事業等により優良事例を示し、取組を拡大</p>
<p>4 自然循環機能の維持・増進</p> <p>○未利用資源の有効活用</p>	<p>5/14: 全国エコフィード推進行動会議の開催 (平成20年度行動計画の決定等)</p> <p>エコフィード利用畜産物認証制度の検討</p> <p>・配合飼料原料としてのエコフィードの利用促進 ・TMRセンターを活用したエコフィードの利用拡大 ・地域未利用資源の利活用促進</p> <p>人材育成研修等の開催</p>	<p>ブロック推進会議・地域セミナー等の開催</p> <p>骨子のとりまとめ</p> <p>地域人材の確保</p>	<p>○全国・地域シンポジウム等の開催</p> <p>○エコフィード生産・利用の拡大</p> <p>○研修会の開催、優良事例の紹介</p>

項目	4月～9月	10月～3月	備考
<p>○家畜排せつ物の適正な管理と利用の促進</p>	<p>【家畜排せつ物の管理の適正化と利用の促進】</p> <p>4月～：家畜排せつ物の利活用の推進に必要な施設等の計画的な整備</p> <p>【耕畜連携によるたい肥利用の推進】</p> <p>4月～：「家畜排せつ物の利用の促進を図るための基本方針」(H19年3月30日公表)に即した、都道府県計画(目標年度:H27年度)の見直しを推進</p> <p>4月～：たい肥の利用促進を図るために必要な施設整備や家畜排せつ物の高度利用等の促進を図るためのモデル地区の整備への支援の他、シンポジウム等によりその普及を推進</p> <p>【環境規範の導入】</p> <p>各種支援策への要件化</p>		<p>○H21年3月31日で、農水省と協議を了している県：31県。</p> <p>○たい肥の利活用の推進に必要な施設整備等を推進。</p> <p>○順次、各種支援策への要件化により、さらなる生産現場における「農業環境規範」の普及・実践。</p>
<p>5 疾病の発生予防と衛生管理水準の向上</p>	<p>(4月～)各種事業を活用し、地域が一体となった農場の清浄化や飼養衛生管理の取組を支援</p> <p>(4月～) 都道府県段階で、具体的な発生状況を想定した口蹄疫や豚コレラに係る防疫演習を実施</p> <p>(4月～) オーエスキー病の新防疫対策要領に基づく措置を実施し、清浄化を推進</p> <p>(5月～) 全都道府県で、豚インフルエンザウイルス保有状況調査を実施</p> <p>豚のHACCP認証基準の公表・普及</p> <p>(8月～)HACCP認証体制作り</p> <p>認証制度の創設</p>		

項目	4月～9月	10月～3月	備考
<p>6 国産豚肉の消費拡大及び食育の推進</p> <p>○国産豚肉の消費拡大の推進</p>	<p>食肉処理施設における部分肉加工等に係る事業要望の把握</p> <p>食肉加工品開発の要望の把握</p> <p>国産豚肉の情報提供等事業計画の策定</p>	<p>事業の実施</p> <p>事業の実施</p> <p>生産者等と加工業者との協議会の開催</p> <p>事業の実施</p>	
<p>○食育の推進</p>	<p>【学校給食における地場農畜産物の利用拡大】</p> <p>学校給食の地場農畜産物の利用拡大に係る原材料費助成等（平成21年度補正予算）</p> <p>【銘柄豚等、生産情報の普及啓発】</p> <p>養豚振興対策等において、新たな銘柄豚生産の取組に係る普及啓発、消費者交流等の取組を支援</p> <p>【インターネットを使った畜産情報の提供・相互交流】</p> <p>LIN推進協議会の開催</p> <p>生産情報の充実、消費者モニターの確保</p>	<p>LIN推進委員会開催</p>	<p>○インターネットを通じた畜産関係情報の提供を推進</p>
<p>○チェックオフ活動</p>	<p>全国規模の生産者組織の活動</p>		